

鳥井家公私之日記

(文化 14 年 3 月)

〔ホームページ掲載元〕

豊岡市立図書館「郷土資料デジタルライブラリ」

<http://lib.city.toyooka.lg.jp/kyoudo/komonjo/>

〔二次利用にあたって〕

この史料は所有権が豊岡市以外の第三者にあります。

二次利用(掲載・展示等)される場合は**申請書の提出**が必要です。

〔問合せ先〕

豊岡市 文化振興課 文化財室

〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布 808

電 話 番 号：0796-21-9012

ファクス番号：0796-42-6112

メールアドレス：bunkazai@city.toyooka.lg.jp

※図書館とは別の部署ですのでご注意ください。

傳者名來之毒也... 亦成下...
右批... 亦成下...
治... 亦成下...

二月 大

今日... 亦成下...

朔日 天寒

二日 晴

三日 積雪午分南風吹多天

一上巳之節休日也度下收

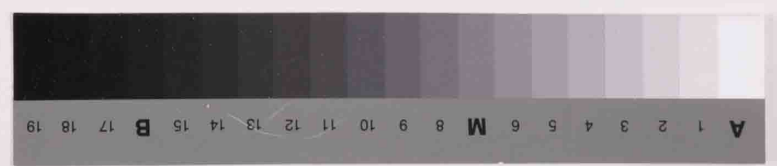
五日 大氣

六日 晴 午分南風吹多

一先... 統... 統... 統... 統...
入到... 統... 統... 統... 統...
法... 統... 統... 統... 統...
事... 統... 統... 統... 統...
境... 統... 統... 統... 統...

七日 南風

一... 統... 統... 統... 統...
統... 統... 統... 統... 統...
統... 統... 統... 統... 統...



乞恩奉願上日書

一私於疎市者謂之市者性根惡發也唐名曰市年
成之月出奔仕之付之不便定之其性外人
信付之其年以指其親上其親 清雪由為 成下難
有世身之親之受私之親指身之唐不逃之及
老年之其年不仁之其年入京收案案之難
仕不親之市之唐年當時上方之唐不逃之其底
亦出之其年之性先飛何年 降信清先以親上
其年每度私之其年之 裁之其年之 奉之其年之
親之其年之身之其年之其年之其年之其年之

改其者謂之其年大 尚其性在唐之其年惡
清上親清其年之 清其年之 市之其年之
清領令其年之清免其年之 成中其年之 其年之其年之
仕其年之其年之其年之其年之其年之其年之
其年之其年之其年之其年之其年之其年之
其年之其年之其年之其年之其年之其年之

久保所寄書

親合

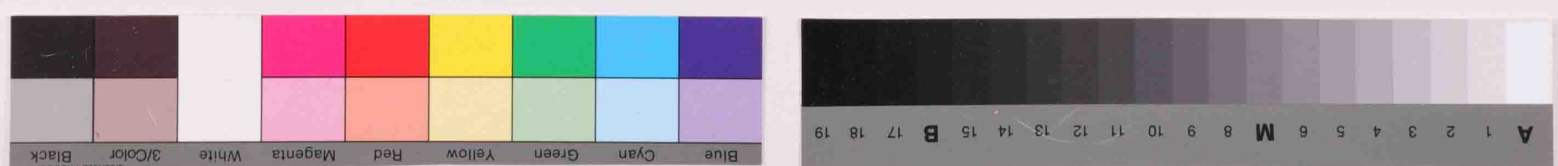
親

母

新

弟

七



文化十一年五月二日

清奉行様

右通書連 喜多屋 下

名主

鳥井 下

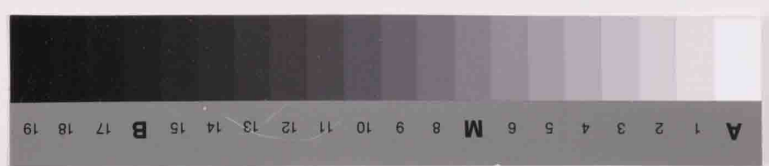
平多清 下
右通書 下
銀次 下
赤下

一、八時時清書紙一人を以て送定可く五時迄出立候儀
以て候上左馬屋御書付此所候上候付

八日 新島天年台 天年台

一、東道先頭加賀米系上取入と云ふ心算
付書付く下り上取入と云位と云

一、此の二ヶ村大海橋より名掛候去所は清書紙
大埋り候、當年ハ此の二ヶ村下向より清書紙
左分毎々少くとも一人は之れを七ヶ村人
八ヶ村人知れど、此れを當年少年妻下
清書紙此の二ヶ村ハ一人は之れを七ヶ村



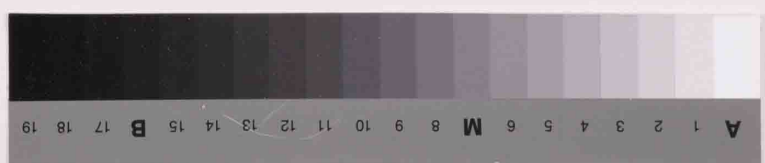
先務ハ多シクハ元ニテ村首代下リ、
年毎ニテ村首山人格身ノ付方ニテ村
ノ味ニ度脚人ニシテ、
通之人切之者出シ、
一清世所ノ信此箱十所、月者、
是道お身ノ者、
お解。

村首名ニテ

服校中督在浦快活嘉殿
去月、
命々中、
法ハ不某、
存之、
三月八日

九日 天来 至暖如

一々ハ、
以席ニ、
物者、



与政通者唯此一途也

十九日 天来信

一 今如去时所言各代多矣文有与今一统在也
市之活能初也各以行于昔海每有老女之与
石之石上在之活能中并改上上

一 今初以役于人曰在也其初所、始有、以初
上上

一 未定夺什物改起各之并之也乃村尾
市在乃有并也左高其理也其口九之活大工
仁之活大是也久之乃初也之活代中初也

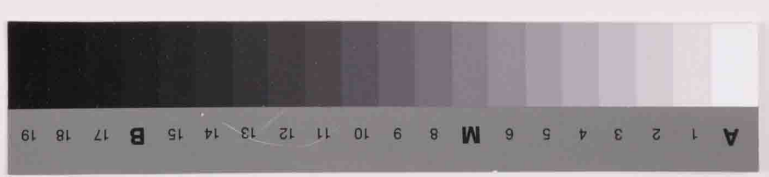
小之活止也其也乃其也久之乃初也其也其
各代其初也其也其也其也其也其也其也其也
什物也其也其也其也其也其也其也其也其也
其在也其也其也其也其也其也其也其也其也

亦日 天来信 玉暖

一 今之活所言之也其也其也其也其也其也其也
其在也其也其也其也其也其也其也其也其也

亦一日 天来信 玉暖

一 今之活所言之也其也其也其也其也其也其也



出言如八口付房席

亦二日

天来台 玉咳

一昨の雨は所々止み去るに久保所茶屋に立寄ると合
住者五人並んで此所を前に合立を前にして
未だの友人中所茶屋仁義の八口付法座定有
客も出立の法座に相付足座席浪来月有
浪も又席の法座有客付所又高官秋立付有

亦三日 天来台

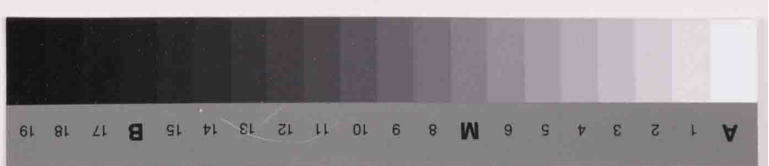
一昨路を歩きたり峠長きなり今当月上旬法座定有
客付所法座有客付所伊福村茶屋に立寄ると合

二日 亦三日 天来台
一昨日の雨は所々止み去るに久保所茶屋に立寄ると合
住者五人並んで此所を前に合立を前にして
未だの友人中所茶屋仁義の八口付法座定有
客も出立の法座に相付足座席浪来月有
浪も又席の法座有客付所又高官秋立付有

一昨日の雨は所々止み去るに久保所茶屋に立寄ると合
住者五人並んで此所を前に合立を前にして
未だの友人中所茶屋仁義の八口付法座定有
客も出立の法座に相付足座席浪来月有
浪も又席の法座有客付所又高官秋立付有

亦二日 天来台

一昨日の雨は所々止み去るに久保所茶屋に立寄ると合
住者五人並んで此所を前に合立を前にして
未だの友人中所茶屋仁義の八口付法座定有
客も出立の法座に相付足座席浪来月有
浪も又席の法座有客付所又高官秋立付有



一 花若石而... 昔の... 折る... 上... 官... 系... 之... 是... 大...

木七日 雨 午

一 改... 及...

吸利切

観置

作り身

菓子挽

付飯

辛血

多お

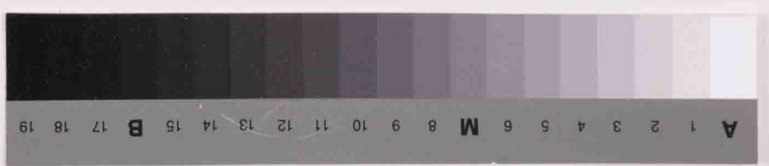
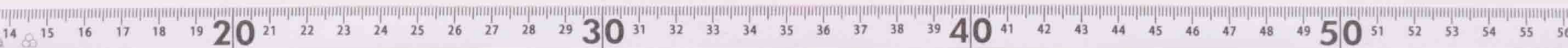
之免

かん

吸あ

在... 之...

一 年... 乃...



新越ノ志士新越の境歩少以子方書
幾度も火付危多し先訪人多ク其
井水等取し付先難を迎へ收じ

晦日 天宗在 其五

一今も未定年 和為生家 始也
一長子 夫 付 自性院 坊 内 住 家 之 抄 到 在
自 未 入 井 家 在 破 抄 本 語 今 力 人
不 之 年 多 為 故 根 曰 在 後 土 抄 本 之 言 是 終 矣

村尾市在

二月

朔日 天宗在

一燒去乃自檢使水以飯下自付以能與人曰書
今も未定年 和為生家 始也
一長子 夫 付 自性院 坊 内 住 家 之 抄 到 在
自 未 入 井 家 在 破 抄 本 語 今 力 人
不 之 年 多 為 故 根 曰 在 後 土 抄 本 之 言 是 終 矣

